

## 平成 23 年度通常総会の概要

議事では議決の結果すべて事務局の提案通り承認された。

### 【第 1 号議案】 平成 2 3 年度役員変更（案）承認の件

会長理事 松井博和  
副会長理事 天野哲郎、堀口幸利  
顧問 羽貝敏彦  
参与 上田一郎  
理事 八戸三千男

次いで本総会で退任する役員（会長理事；上田一郎、副会長理事；折登一隆、佐原照三、顧問；東修二）について報告があり、了承された。

### 【第 2 号議案】 平成 2 2 年度事業活動報告

### 【第 3 号議案】 平成 2 2 年度収支決算書

### 【第 4 号議案】 平成 2 3 年度事業活動計画 （別記参照）

### 【第 5 号議案】 平成 2 3 年度収支予算

### 【第 6 号議案】 事務局体制変更

欠員であった専務理事の補充による事務局体制の整備案（専務理事 1 名、事務局長 1 名、事務局次長 1 名、事務局員 1 名）について事務局から説明があり、承認された。



---

### 別記(平成 2 3 年度事業活動計画)

地域の農業及び関連産業に関する産学連携の促進に寄与するため、グリーンテクノバンクの事業戦略に沿って重点的に取り組む以下の課題を中心に活動を推進します。

- ① 「道産農林水産物の高付加価値化、新事業・新産業育成のための産学連携の促進」
- ② 「北海道農業の生産安定化、省力化、軽労化のための産学連携の促進」
- ③ 「農業・農村生活の基盤を支えるネットワーク形成のための産学連携の促進」
- ④ 「グリーンテクノバンクが参画した農林水産省実用開発事業等の研究成果の事業化促進」

## 1 事業実施体制の強化

- (1) 産学連携コーディネーター等の増員

## 2 特定非営利活動に係る事業

- (1) 先端技術の情報収集及び提供
- (2) 先端技術のシンポジウム、セミナー等の開催
  - 1) 北海道における農業・食品産業の振興と産学連携の役割（6月、札幌市）
  - 2) てん菜の生産と利用技術／てん菜研究会技術研究発表会（7月、札幌市）
  - 3) 北方系新果樹シーベリーの産地化と加工技術／シーベリー研究会現地検討会（8月、士幌町）
  - 4) 農業・農村生活を支えるネットワーク形成／初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会（11月、札幌市）
  - 5) ソバの生産と利用技術／ソバセミナー（10月、旭川市）
  - 6) 北海道地域アグリ・フードビジネス創出戦略／北方系機能性植物研究会シンポジウム（10月、札幌市）
  - 7) 産学連携と競争的研究資金の活用（1月、札幌市）
- (3) 研究開発の需要調査及び新技術をベースとした起業化・事業化のコンサルティング
- (4) 競争的資金の獲得に向けた産学連携研究の企画と支援
- (5) 新技術の開発・導入に関する関係機関間及び研究者間の連携支援
- (6) 技術開発に関するシーズ・ニーズの交流と研究成果の普及と啓蒙
  - 1) アグリビジネス創出フェアの開催・参加
  - 2) 北方系機能性植物研究会シンポジウム・意見交換会の開催

## 3 組織・財政の強化

(以上)